

# NE VISION

第52期 第2四半期株主通信

2013年7月1日～2013年12月31日

株主のみなさまへ	1
決算ハイライト	2
新中期経営計画	3
部門別の概況	5
主要財務データ	6
企業インフォメーション	9
株主メモ	11



## 株主のみなさまへ



株主の皆様には、日頃から暖かいご支援いただき、心からお礼申し上げます。ここに第52期(2013年7月1日～2014年6月30日)第2四半期の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

前期(第51期)は、2012年度の大規模補正予算と2013年度の予算の連続的な執行(いわゆる15ヶ月予算)による公共事業投資の増加に伴って下半期(2013年1月～6月)の受注が好調であったことから、当期は期首に約68億円という受注残高を抱えてのスタートになりました。急激な業務量の拡大は品質低下を招く恐れがあることから一部で受注を抑制したために、当第2四半期累計期間(7月～12月)の受注高は前年同期より若干少ない72.8億円でしたが、売上高は前年同期比139.4%にあたる24.3億円を計上することができました。

下半期は、既に受注している業務を高い品質で完成させることに力を尽くすとともに、今期についても2013年度の補正予算と2014年度の予算の連続的な執行が予定されていることから積極的に受注拡大を図り、国や地方自治体が進めている震災復興事業や防災・減災事業、インフラの老朽化対策、さらには東京オリンピック・パラリンピックに向けた整備事業に貢献して参る所存です。今後も引き続き、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

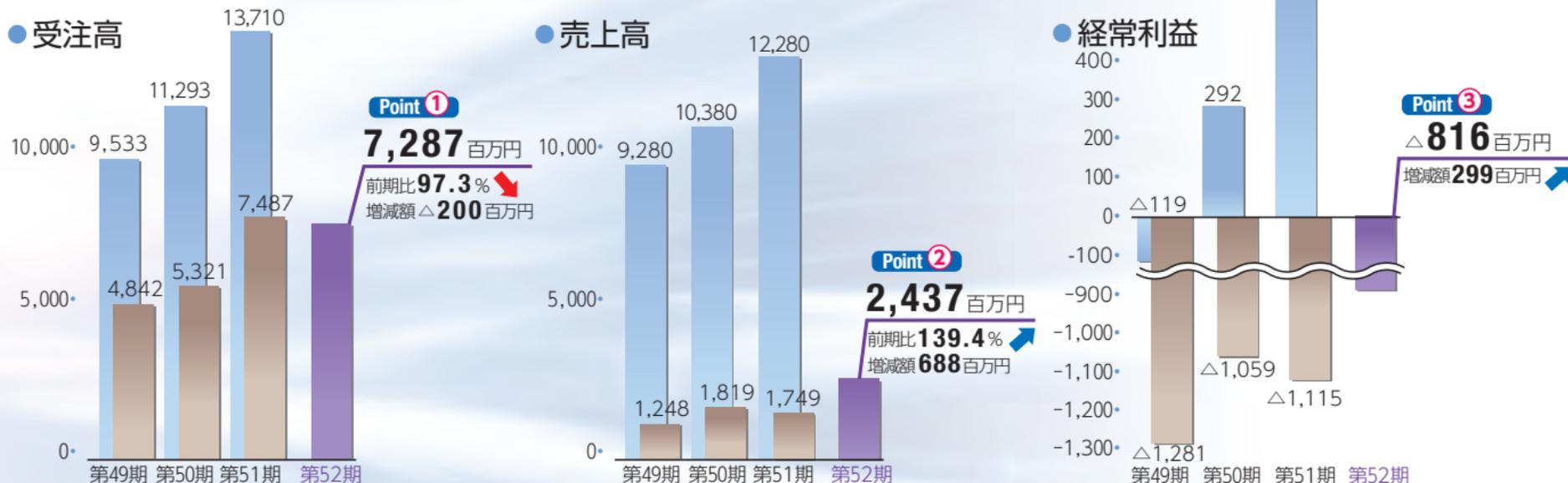
なお、現下の市場環境と操業状況を勘案し、第52期通期の業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益がともに2013年8月9日に公表いたしました通期業績予想を上回る見込みとなり、去る2月7日付けで業績予想を修正いたしましたので合わせてご報告いたします。

2014年3月  
代表取締役社長 高久 晃

# 決算ハイライト

- Point ①** 受注高は、国土強靱化政策により前年度と同様、高水準で推移。
- Point ②** 売上高は、前期からの繰越業務の影響により、前期比139.4%で大幅増。
- Point ③** 経常利益は、売上高が増加した結果、前年同期に比べ3億円増。

(単位：百万円)



※注. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。



常務取締役 経営企画担当  
土井 朗

## 「人々を豊かにする企業」を目指して

～ Future Innovation ～

今期より、新たな中期経営計画がスタートしました。計画達成に向けて、全社一丸となって取り組んでいきます。

### 全体概要

第9次中期経営計画では、2010年8月に自民党から民主党へと政権が交代し、「コンクリートから人へ」の方針のもと、公共事業を取巻く環境は大きく変化しました。そうした中、2011年3月東日本大震災が発生し、我々建設コンサルタントの果たす役割の重要性と社会的使命を再認識させられました。

第10次中期経営計画は、新たな時代を邁進する体質への変貌と、強固な経営基盤の確立を目指すための計画であると位置づけています。2013年1月に当社は50周年を迎えたが、社会基盤の整備に貢献する思いは色あせることなく「誠実」「技術」「確実」の社訓のもと、新たな50年の一步を踏み出します。計画の最終年度にあたる2016年6月期は売上高120億から130億、営業利益率は4.2%から6%の計画です。この計画達成に向けた5つの重点課題と基本戦略を設けています。

重点課題	基本戦略
【1】事業領域の拡大と競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注活動強化</li> <li>・事業領域ごとの拡大戦略</li> </ul>
【2】生産力の強化と品質の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産力の増強と効率性の向上</li> <li>・品質の確保</li> <li>・子会社及び協力会社の強化</li> <li>・不採算組織の自立</li> </ul>
【3】労働環境の改善／所定時間外就労の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事／労務／雇用制度の改善</li> <li>・BCPの構築と老朽施設対策</li> <li>・ICTインフラの改築</li> </ul>
【4】技術者の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入社員確保</li> </ul>
【5】火種運動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革運動(労務環境の改善)</li> <li>・ローコスト運動(利益の確保)</li> <li>・NO-MC運動(ミスクレームの撲滅)</li> </ul>



# 部門別の概況

(単位：百万円)

## 構造保全

受注高 **3,843** 増減額△ 711 前期比 84.4% 受注高 構成比 52.7%

売上高 **1,228** 増減額 614 前期比 199.9% 売上高 構成比 50.4%

### 【事業内容】

橋梁や地下構造物等を中心とした新設構造物の計画・設計業務及び既存構造物の点検、補修・補強、修繕計画等の保全関連業務

### 【主な受注業務】

- ・北勢国道事務所管内における475号東海環状(北勢～大安)大安北高架橋詳細設計業務
- ・中国地方整備局管内における浜田港福井地区臨港道路橋梁詳細設計業務

## 社会創造

受注高 **2,001** 増減額 231 前期比 113.1% 受注高 構成比 27.5%

売上高 **369** 増減額△ 112 前期比 76.7% 売上高 構成比 15.2%

### 【事業内容】

道路計画・設計、交通計画、都市及び地方計画、環境調査・計画等に関する業務

### 【主な受注業務】

- ・飯田国道事務所管内における青崩峠道路施工計画検討業務
- ・岐阜県における地域省エネルギー対策促進事業委託業務

## 防災

受注高 **1,184** 増減額 193 前期比 119.5% 受注高 構成比 16.3%

売上高 **507** 増減額 181 前期比 155.5% 売上高 構成比 20.8%

### 【事業内容】

河川・砂防計画、地質調査、探査、港湾等の調査・計画・設計に関する業務

### 【主な受注業務】

- ・利根川上流河川事務所管内における福川水門外盛土影響対策検討業務
- ・福島河川国道事務所管内における吾妻山火山山体構造調査業務

## 海外・施工管理

受注高 **256** 増減額 86 前期比 151.3% 受注高 構成比 3.5%

売上高 **331** 増減額 5 前期比 101.7% 売上高 構成比 13.6%

### 【事業内容】

国外における道路及び橋梁建設プロジェクトの調査・計画・設計業務ならびに国内外における工事の実施に関する施工監理業務等

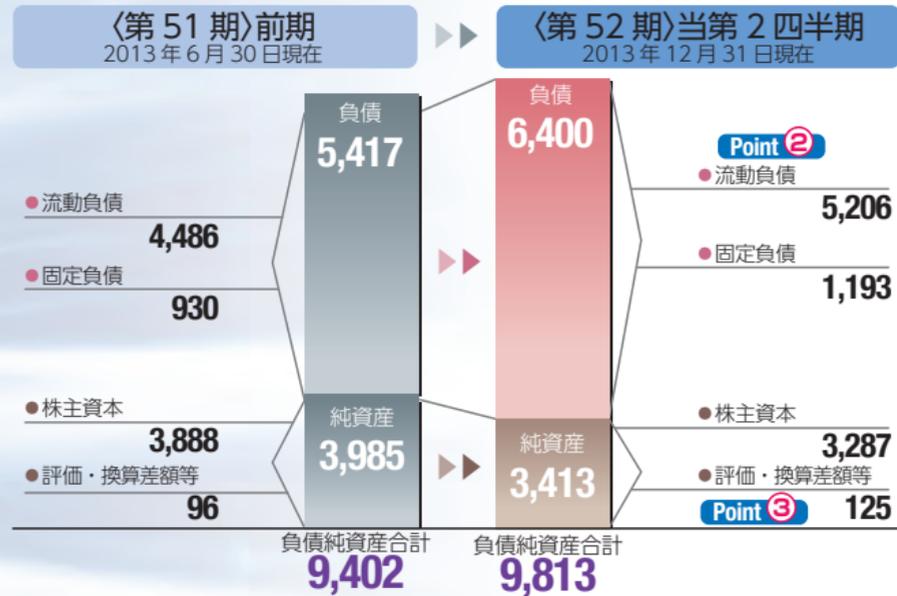
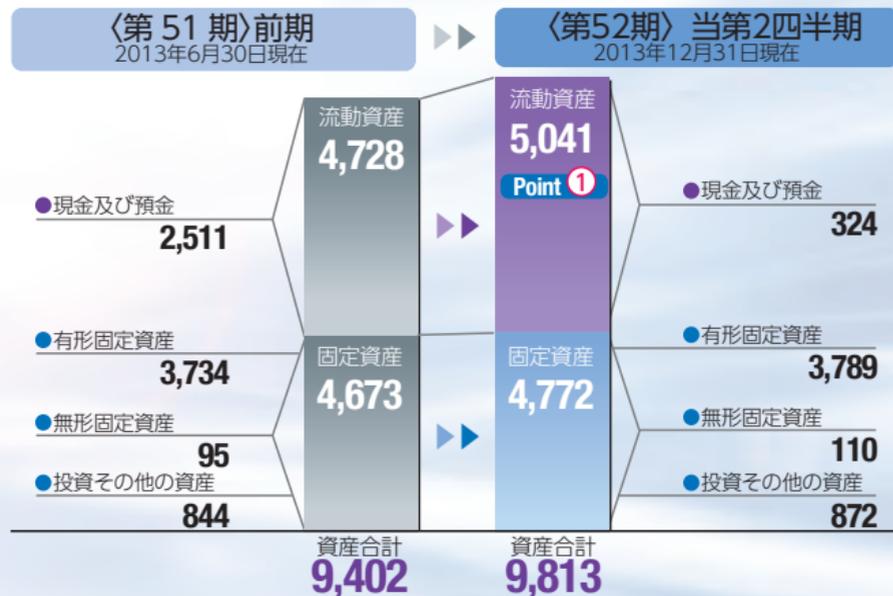
### 【主な受注業務】

- ・フィリピン国ミンダナオ島南部地域回廊補修事業(ダバオバイパス整備事業)準備調査業務
- ・東名高速道路 東名工事区施工(調査等)管理業務

# 貸借対照表の概要

- Point ①** 流動資産は、期末に向けた仕掛中の受注業務が増加したことによる増加。
- Point ②** 流動負債は、金融機関より短期の資金調達を実施したことによる増加。
- Point ③** 評価・換算差額等は、保有上場株式の株価上昇による増加。

(単位：百万円)



※注. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

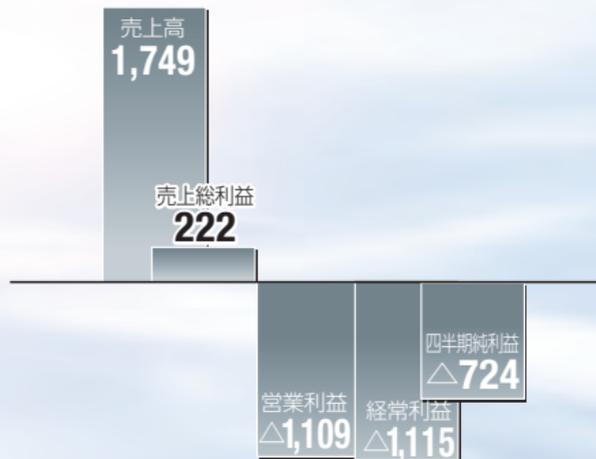
# 損益計算書の概要

- Point ① 売上高は、前期からの繰越業務の影響により、前年同期比139.4%で大幅増。
- Point ② 営業利益は、売上高増により固定費増を吸収し、前年同期に比べ増益。
- Point ③ 四半期純利益は、特別損益の発生がなく、前年同期に比べ増益。

(単位：百万円)

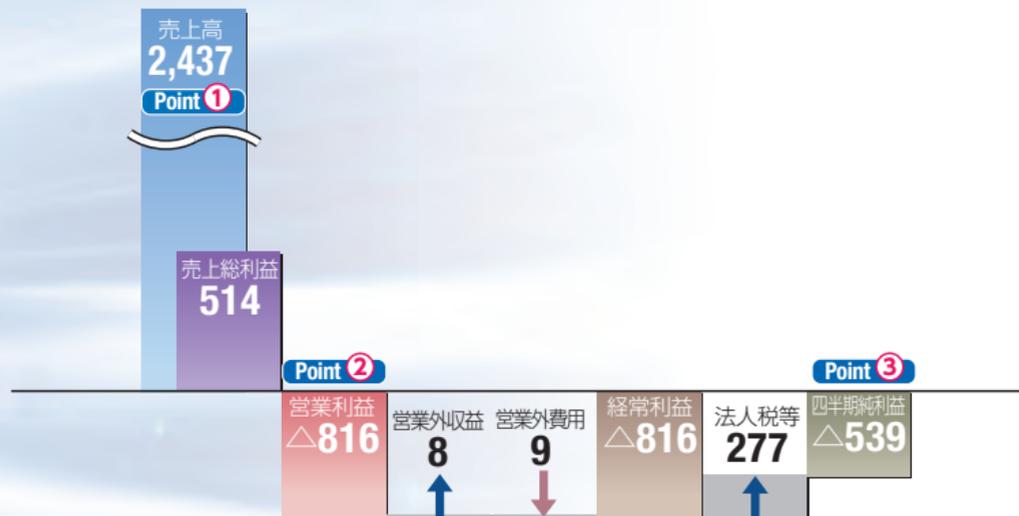
## 〈第 51 期〉前第 2 四半期

2012年7月1日から2012年12月31日まで



## 〈第 52 期〉当第 2 四半期

2013年7月1日から2013年12月31日まで



- 注1. △印は、マイナスを示しております。  
 2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

# キャッシュ・フロー計算書の概要

**Point ①** 営業活動C Fは、受注業務の消化による棚卸資産の増加により前年同期比120.8%の使用。

**Point ②** 財務活動C Fは、堅調な受注によりキャッシュフローが改善し、資金調達が減少。

**Point ③** 現金及び現金同等物の四半期末残高は、営業活動C Fの支出が収入を上回ったため、期首残高から大幅減。

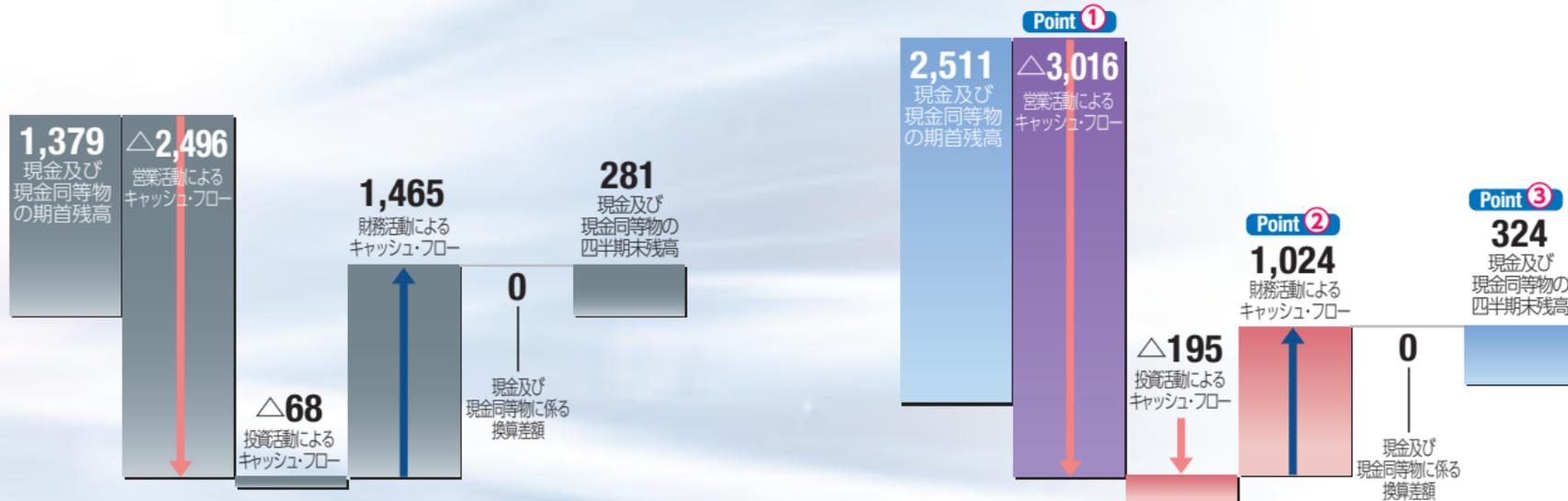
(単位：百万円)

〈第 51 期〉前第 2 四半期

2012年7月1日から2012年12月31日まで

〈第 52 期〉当第 2 四半期

2013年7月1日から2013年12月31日まで



注1. △印は、マイナスを示しております。

注2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

# 企業インフォメーション

## 会社概要

(2013年12月31日現在)

社名 大日本コンサルタント株式会社  
NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD.  
設立 1963年(昭和38年)1月23日  
資本金 13億9千9百万円  
社員 社員総数 557名(男性526名 女性31名)  
平均年齢 45.1歳  
平均勤続年数 16.3年  
子会社 Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd.  
NEテクノ株式会社

## 役員一覧

(2013年12月31日現在)

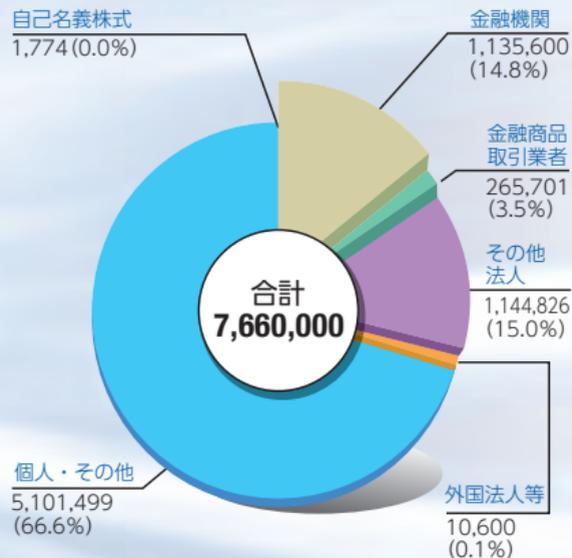
代表取締役会長	川神 雅秀	常勤監査役	古田 寛志
代表取締役社長	高久 晃	監査役※	吉田 勝
常務取締役	藤田 隆	監査役※	前田與志猛
常務取締役	土井 朗		
常務取締役	新井 伸博		
取締役	古味 敏行		
取締役	楠本 良徳		
取締役	中岡 和伸		

※社外監査役

## 所有者別株式数の分布

(2013年12月31日現在)

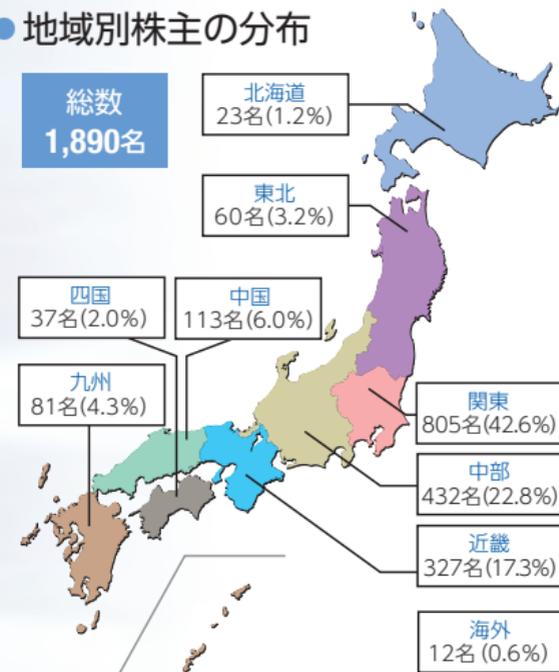
### ●所有者別株式数の分布



## 地域別株主の分布

(2013年12月31日現在)

### ●地域別株主の分布



## 株式の状況

(2013年12月31日現在)

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,660,000株
株主数	1,890名 (前期末比21名減)

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大日本コンサルタント社員持株会	733	9.58
大日本コンサルタント社友持株会	469	6.13
株式会社 北陸銀行	325	4.25
古河機械金属 株式会社	190	2.48
株式会社 三菱東京UFJ銀行	181	2.37
川田テクノシステム株式会社	172	2.25
富士前鋼業 株式会社	165	2.15
富士前商事 株式会社	146	1.91
日本スタートラスト信託銀行株式会社	140	1.83
三菱UFJ信託銀行 株式会社	140	1.83

注. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主様へ

### 単元未満株式(1株~99株)とは

当社の最低売買単位である1単元(100株)に満たない株式のことをいい、単元未満株式(1株~99株)については、証券市場で売買することはできません。

#### 単元株式

- 株主総会で議決権を行使できる。
- 証券市場で売買できる。

#### 単元未満株式

- ×株主総会で議決権を行使できない。
- ×証券市場で売買できない。

### 単元未満株式の買増および買取、配当金受領方法など

- 株主様の口座があるお取引の証券会社にお問い合わせください。
- 証券会社に口座がなく特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社(☎0120-232-711)にお問い合わせください。

### 単元株式(100株)にするには

単元未満株式をお持ちの株主様は、当社に対し市場価格で、単元未満株式につき、単元株式(100株)にするために必要な株数を当社からご購入(買増制度)または単元未満株式をご売却(買取制度)いただくことが可能です。

#### (例)45株をお持ちの株主様の場合

#### 買増制度

55株(お持ちの45株を100株にするために必要な株式)を、当社から市場価格でご購入いただけます。

#### 買取制度

当社が、45株を市場価格で買い取らせていただきます。

また、単元未満株式の買増および買取にかかる当社の手数料は無料ですので、ご利用をご検討ください。

注. お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。

# 株主メモ

## 株式に関する事項

事業年度	7月1日～翌年6月30日
定時株主総会	毎年9月
基準日	定時株主総会 6月30日 期末配当 6月30日
1単元の株式の数	100株
公告の方法	電子公告により行います
公告掲載URL	<a href="http://www.ne-con.co.jp/">http://www.ne-con.co.jp/</a> (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第二部)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
ご連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)

## 当社お問い合わせ窓口

経営企画室IR担当 〒170-0003 東京都豊島区駒込三丁目23番1号  
TEL 03-5394-7611(代) E-mail info@ne-con.co.jp

## IR年間スケジュール

第1 四半期			第2 四半期			第3 四半期			第4 四半期		
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	通期 決算発表			第1 四半期決算発表			第2 四半期 決算発表			第3 四半期 決算発表	
	招集通知送付			株主総会開催 期末配当金支払開始						期末配当株主確定	

## ホームページのご案内

会社情報、事業紹介、株主・投資家情報などを公開しております。ぜひご利用ください。

大日本コンサルタント  <http://www.ne-con.co.jp/>



この用紙は再生紙を利用しています。



ユニバーサルフォントを使用しています